

新型コロナウイルスクラスター感染終息のお知らせ

去る10月20日に職員1名から新型コロナPCR検査陽性が判明してから11月2日までに濃厚接触者、接触者と考えられる患者さま57名に延べ164件、職員及び職員関係者141名に延べ339件、計503件のPCR検査を施行しました。その結果患者さま5名、職員関係8名の陽性が判明しました。1例目が判明した直後からすべての陽性者、接触者に完全隔離を行い、以後嚴重なる経過観察とPCR検査の追跡調査により、11月2日の時点で感染拡大は制御でき、さらなる感染者は認めておりません。現在感染経路などの調査を行っており、その原因を究明しさらなる発生を未然に防ぐ努力をする所存であります。院内クラスターにおいてはすでに終息したと考えます。なお感染の場所となった当該病棟とリハビリ科で本日再度の感染対策講習を行い、明日より通常通りの運用を再開することとします。また、皆様にご迷惑をおかけしておりました救急車及び救急患者さまの受け入れはすでに本日11月4日水曜日より再開しております。

今回の院内クラスター発生により入院及び外来患者さま、ならびに多くの医療機関の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、このようなことが2度と生じないように今回の感染事例を教訓とし、さらなる感染対策をもって安心して診療を受けていただける相模原病院となるよう、職員一丸となり診療にあたることをお約束いたします。

国立病院機構相模原病院 院長 金田悟郎